



銃剣道競技 実施要項

1 期 日 2025年10月4日（土）から10月6日（月）まで（3日間）

種 別	10月4日（土）	10月5日（日）	10月6日（月）
成年男子	1回戦	2回戦	3回戦・準々決勝 準決勝 5～8位決定戦 3位決定戦 決勝
少年男子	1回戦・2回戦 指定トーナメント戦	指定トーナメント戦 準決勝 5～8位決定戦 3位決定戦 決勝	

2 会 場 高島市（成年男子・少年男子）新旭体育館

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	参加都道府県	小 計	合 計(人)
成年男子	3		47	141	193
少年男子	1	3	13	52	

※ 成年男子においては、選手のうち1名が監督を兼任する。従って、監督専任は少年男子のみとする。

4 競技上の規程及び方法

(1) 試合、審判規則及び審判員

- ア 銃剣道試合・審判規則及び細則による。競技者の服装は白色又は紺色の銃剣道着・袴とし、上下混用を認める。ただし、チームで統一すること。
- イ 審判員は、公益社団法人全日本銃剣道連盟において選出する。

(2) 試合方法

- ア 成年男子は、トーナメント方式とし、1位から4位までを決定する。また、準々決勝戦における敗者をもって5位から8位までを決定する。
- イ 少年男子は、トーナメント方式とし、1位から4位までを決定する。また、2回戦以下の敗者をもって、指定トーナメントにより5位から8位までを決定する。
- ウ 試合はすべて3本勝負とし、試合時間は5分、延長2分とし、勝敗が決しない場合は、判定による。ただし、少年・成年男子の各決勝戦は、延長で勝敗が決しない場合、再延長2分を2回まで行い、それでも勝敗が決しない場合は判定による。

5 予選方法

(1) 成年男子

ア 予選は、都道府県大会のみとする。

イ 報告

(ア) 都道府県大会の実施日が決定した場合は、直ちに日時、場所及び試合方法を必ず公益社団法人全日本銃剣道連盟に報告する。

(イ) 都道府県大会終了後、直ちに試合成績表、審判員名、その他の事項について必ず公益社団法人全日本銃剣道連盟に報告する。

(2) 少年男子

ア 予選は、都道府県大会及びブロック大会とする。

イ 都道府県大会は、各都道府県連盟の主催によって実施し、ブロック大会に出場する代表選手を決定する。

ウ ブロック大会の主管連盟は、当該都道府県スポーツ協会と協議し、期日、会場等を決定し、公益社団法人全日本銃剣道連盟に届け出るとともに、関係都道府県連盟に通知する。

エ 試合は都道府県対抗とし、リーグ戦方式によって行う。

オ 主管連盟は、ブロック大会終了後直ちに試合記録とともに、大会責任者氏名（主管連盟会長等）、審判員、参加チーム監督・選手名等を記載した予選会報告書を公益社団法人全日本銃剣道連盟に提出しなければならない。

(3) ブロック大会区分及び選出チームは、下表のとおりとする。

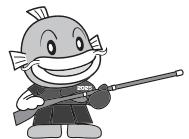
ブロック大会	都道府県名	少年男子
北海道	北海道	1
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	1
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	2
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	1
東海	静岡、愛知、三重、岐阜	1
近畿	京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	2
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	1
四国	香川、徳島、愛媛、高知	1
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	2
開催県	滋賀	1
計		13

(4) 予選は、成年、少年とも8月末日までに終了すること。

6 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則5に定めるもののほか、次による。

監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認銃剣道コーチ1、公認銃剣道コーチ2いずれかの資格を有する者であること。



7 総合成績決定方法

総合成績（天皇杯得点）は、成年、少年の競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1) 競技得点

天皇杯対象種別	競技得点
成年男子 少年男子	各種別とも、1位24点、2位21点、3位18点、4位15点、5位12点、6位9点、7位6点、8位3点の競技得点を与える。

(2) 参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に10点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

8 表彰

- (1) 総合成績第1位から第8位までの都道府県に、表彰状を授与する。
- (2) 総合成績第1位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。
- (3) 各種別の第1位から第8位までに、賞状を授与する。

9 参加申込み方法

総則8に定めるもののほか、次による。

- (1) 所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県スポーツ協会を通じて、2025年9月4日（木）までに申込み手続を完了すること。
- (2) 締切期限以降は、所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。
- (3) 参加申込み締切後の選手及び監督変更は、疾病、傷害等特別な場合に限り認めるものとする。ただし、監督の変更は第6項の条件を満たしていることとする。選手兼任監督を変更する場合は、選手・監督それぞれを所定の様式にて届け出なければならない。その取り扱いについては次のとおりとする。

ア 提出期限 監督会議開催前までとする。

イ 提出先

- (ア) 〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2番3号 日本武道館内
公益社団法人全日本剣道連盟
TEL : 03-6910-0707 FAX : 03-6910-0708
MAIL : jimukyoku@jukendo.info
- (イ) 〒520-0807 滋賀県大津市松本1丁目2番1号
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局
(滋賀県国スポ・障スポ大会局 競技運営室 競技第一係)
TEL : 077-528-3324 FAX : 077-528-4836
MAIL : kokusupo-sanka@pref.shiga.lg.jp
- (ウ) 〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畑565番地
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ高島市実行委員会事務局

(高島市国スポ・障スポ大会推進課)

TEL : 0740-25-8567 FAX : 0740-25-8539

MAIL : jk-kokusupo2025@city.takashima.lg.jp

ウ 提出方法 メール ((イ)(ウ)については原則メールにて提出とする。) ・FAX・郵送及び監督会議場で直接提出のいずれかとする。

なお、公益財団法人日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、別途、所定の手続きにより参加申込み情報を修正すること。

10 その他

(1) 組合せ抽選会

日 時 2025年9月8日(月) 午前10時～11時30分

場 所 公益社団法人全日本銃剣道連盟

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2番3号 日本武道館内

TEL : 03-6910-0707 FAX : 03-6910-0708

(2) 審判会議

日 時 2025年10月3日(金) 午後4時30分

場 所 高島市役所 新館3階会議室9

〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畠565番地

(3) 監督会議

日 時 2025年10月3日(金) 午後5時00分

場 所 高島市役所 新館3階会議室10・11・12

〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畠565番地

(4) 総合表彰式

日 時 2025年10月6日(月) 午後4時30分

場 所 新旭体育館

〒520-1501 滋賀県高島市新旭町旭818番地

(5) 練習会場

場 所 湖西中学校体育館

〒520-1521 滋賀県高島市北畠564番地2

その他練習会場は別に示す。



開始式・表彰式次第

[開始式]

日時 令和7年10月 4日（土） 9時00分

順序	次 第	時刻
1	開 式 通 告	9:00
2	選 手 団 入 場	9:01
3	競 技 会 開 始 宣 言	9:16
4	国 旗 儀 礼	9:17
5	大会旗・連盟旗・県旗・市旗儀礼	9:19
6	大会会長トロフィー返還	9:22
7	競 技 会 会 長 あ い さ つ	9:25
8	歓 迎 の こ と ば	9:28
9	選 手 宣 誓	9:31
10	閉 式 通 告	9:33
11	選 手 団 退 場	9:34

[少年男子表彰式]

日時 令和7年10月 5日（日） 16時35分

順序	次 第	時刻
1	開 式 通 告	16:35
2	入 賞 選 手 入 場	16:36
3	成 績 発 表	16:39
4	賞 状 授 与	16:41
5	記 念 品 贈 呈	16:44
6	閉 式 通 告	16:47
7	選 手 団 退 場	16:48

[成年男子表彰式]

日時 令和7年10月 6日（月） 16時10分

順序	次 第	時刻
1	開 式 通 告	16:10
2	入 賞 選 手 入 場	16:11
3	成 績 発 表	16:14
4	賞 状 授 与	16:16
5	記 念 品 贈 呈	16:19
6	閉 式 通 告	16:22
7	選 手 団 退 場	16:23

[総合表彰式]

日時 令和7年10月 6日（月） 16時30分

順序	次 第	時刻
1	開 式 通 告	16:30
2	選 手 団 入 場	16:31
3	総 合 成 績 発 表	16:35
4	表 彰 状 授 与 並 び に 大 会 会 長 ト ロ フ ィ 一 授 与	16:37
5	競 技 会 会 長 あ い さ つ	16:40
6	歓 迎 の こ と ば	16:43
7	国 旗 儀 礼	16:46
8	大 会 旗 ・ 連 盟 旗 ・ 県 旗 ・ 市 旗 儀 礼	16:48
9	競 技 会 終 了 宣 言	16:51
10	閉 式 通 告	16:52
11	選 手 団 退 場	16:53

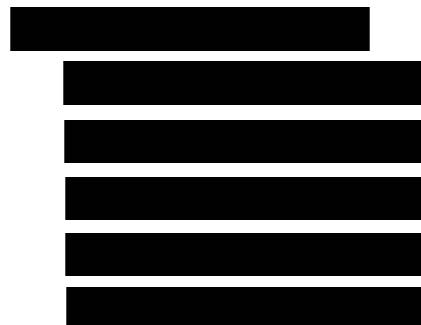
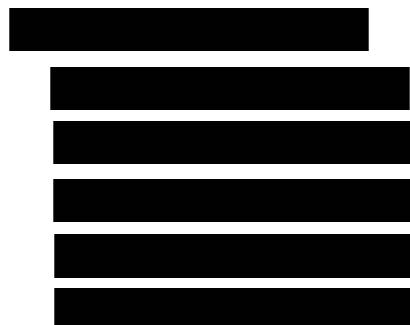


国家「君が代」

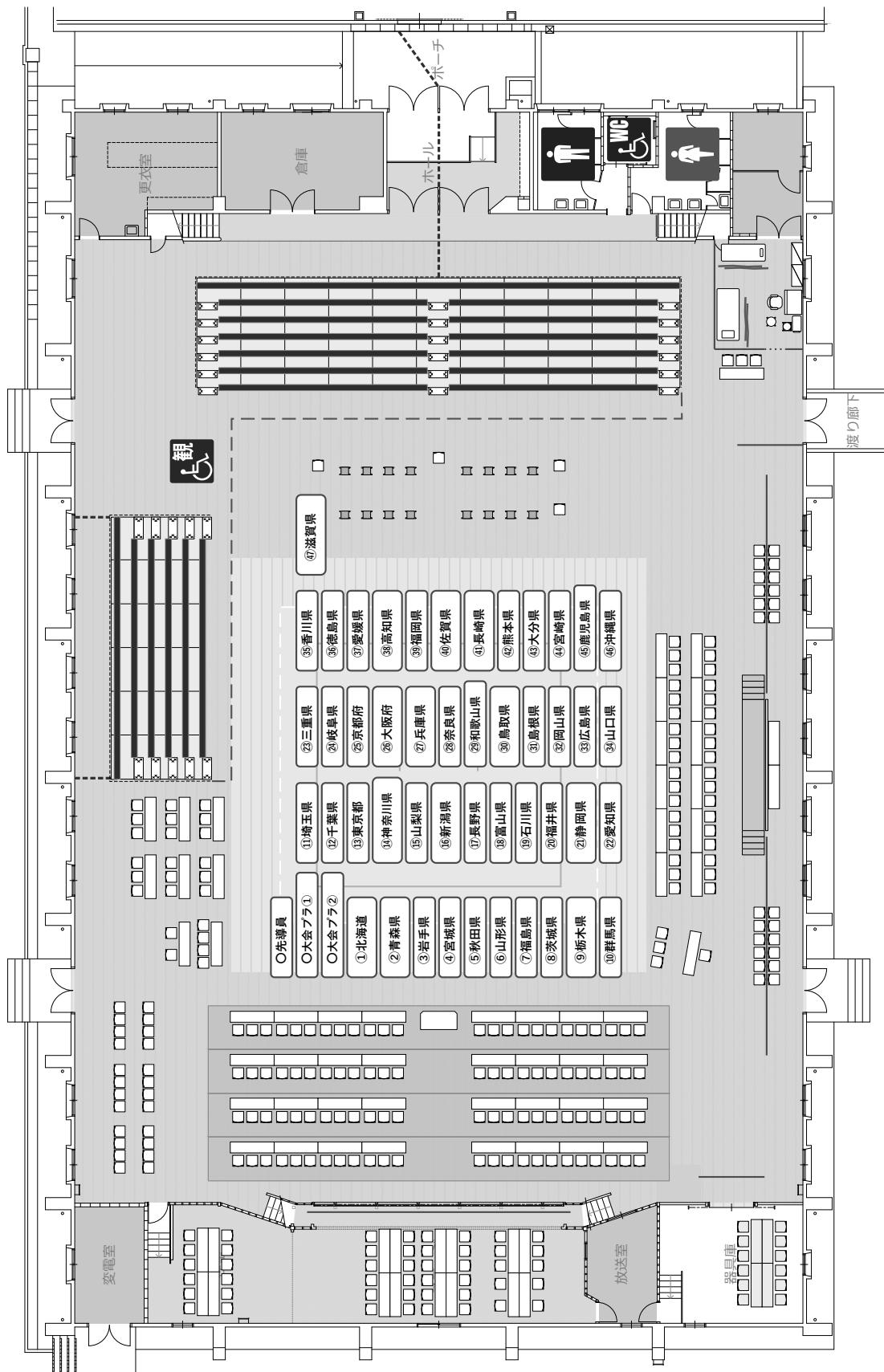
古 歌
林 広守 作曲

君が代は 千代に八千代に さざれ石の
いわおとなりて こけのむすまで

権利の都合上、お見せできません。



式典会場





銃剣道競技の見方

1. 銃剣道競技とは？

「銃剣道の由来」

銃剣道は、わが国の伝統的古武道の一つである槍（やり）の突き技を源流とした武道です。史実によると、上野の東京国立博物館所蔵の宝蔵院流槍術秘事「寛政10年4月、早川長左衛門手記」を主体に、その他の槍術流派では佐分利流・疋田流・貫流等が研究対象になり、その秘術を余す処なく取り入れるとともに、槍術や剣道の理合い等を合わせて研究に研究を重ね、日本人の体格や性格に最も適合した純日本武道として、明治25年（1892年）集大成されたものです。

銃剣道は、突き技を中心とした単純な動作ですから会得するまでは容易ですが、奥義を極めようとするには懐（ふところ）の深い武道です。

「国民スポーツとしての銃剣道」

公益社団法人 全日本銃剣道連盟は、武道としての心身の鍛錬を通じて気力・体力を育成する体育的效果と競技力を高めるスポーツ的效果並びに健全な精神的資質（誠実・礼節・信義・勇気・質実剛健・克己心）を養い、国民スポーツとして品位高尚な人間形成を図っています。

銃剣道は、「やって楽しい・見て楽しい銃剣道」を目指し、洗練された品格のある技の駆使と、公正・的確な審判により「判り易く、スピードで、美しい」試合を具現することにあります。

「美しい」とは、常に相手に敬意を払い、礼に始まり礼に終わる礼儀正しい態度、勝つて奢らず、負けて悪びれない爽やかな態度、理合に叶った突き技を駆使し正面から勝負に挑む正々堂々たる態度であり、軽・マナーを欠き粗野で荒々しい試合は厳に戒め、常に明るく、正しく、強く、逞しいもの求めています。

「国民体育大会の参加」

昭和31年全日本銃剣道連盟が結成され、青少年への健全なスポーツ活動への普及に努め、小・中学校・高校生及び大学生のクラブ活動、成年の社会体育活動等に普及発展し、昭和48年に日本体育協会の加盟競技団体となり、昭和55年の国民体育大会（栃木）から、国体の正式種目となり、広く国民スポーツとして発展しております。

2. 銃剣道競技の試合の見方は

銃剣道は木銃を用いて相手の「左胸部」と「のど」突いて勝敗を競う競技です。

試合で一本となる主な有効突き部位は、相手の左拳の上部から左胸部を突く「上胴（うわどう）」、相手の左拳の下部から左胸部を突く「下胴（したどう）」、相手の喉を突く「のど」です。



上胴



下胴



のど

そのほかに相手の姿勢が崩れた時に突く「左肩」や「正面胴」、相手が左腕で左胸部を隠した時に突く「左小手」も有効な突き部位となります。



肩



正面胴

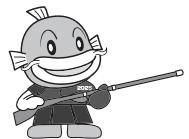


小手

銃剣道は突き技のみで打ち技は無く、相手の木銃を払う技以外は禁止されています。

試合で一本となる「有効突き」とは、充実した気勢・正しい姿勢で有効突き部位を剣筋を正しく突き、木銃を引き抜いた後に残心（油断のないこと）のある気・剣・体の一致した技でなければなりません。

試合では、相手との間合いを測り、相手の構えている木銃や相手の突きを「打ち払う」「かわす」「摺り上げる」「巻き落す」「押さえる」等して体勢を崩したり心の乱れを誘つて隙をつくるとともに、相手が出てくるところ、下がるところ、技の尽きたところ等の相手の一瞬の隙を見逃さず、迷うことなく技を繰り出して勝敗を競います。



[用具]

銃剣道の用具には、木銃と防具があります。

※ 木銃：長さ＝166センチメートル

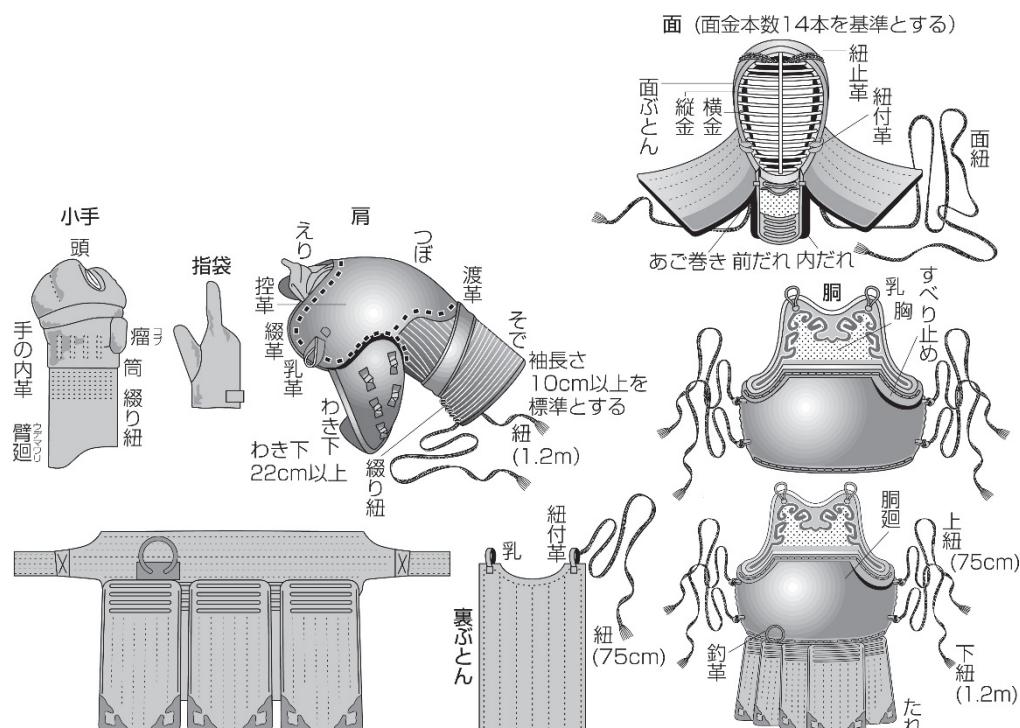
重さ＝1,100グラム以上（18歳以下は、1,000グラム以上）

材質＝櫻の木等

形＝右図のとおり



※ 防具には、面・胴・肩・たれ・左小手・裏ぶとん・指袋（右手）があります。

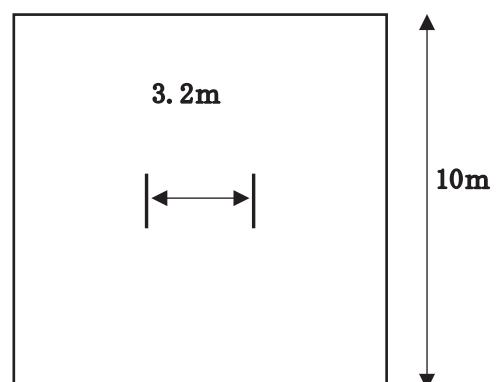


※ 服装は白又は紺系統の稽古着・袴を着用、稽古着の右上腕部に称号・段位を表す識別章を付けます。

[試合場]

板張りの床（武道館又は体育館）に縦・横
10メートルの正方形の「区画線」を設け、その
中心点からそれぞれ1.6メートルの位置に「試
合開始線」を表示します。

区画線の外を「場外」といい、試合中に場外
に出ると反則になります。



3. 勝ち負けはどのように決まるか

3人の審判員が赤・白の審判旗で「有効突き」を表示（認めた方の旗を斜め上にあげる）し2人以上の審判員が挙げた場合に1本となり、2本先取した方が勝ちとなります。

いずれかが1本を取り、試合時間（5分）が経過したときは、1本を取っている方が勝ちとなります（1本勝ち）。

試合時間（5分）内に勝負が決しない場合は、試合時間を2分延長して試合を続け、1本先取した方を勝ちとします。ただし、決勝戦は延長で勝敗が決しない場合、再延長2分を2回まで行います。

延長時間内に勝敗が決しない場合は、3人の審判員が試合内容の優劣による「判定」で勝敗を決めます（判定勝）。

[審判員の表示と有効突きの判定]

「有効突き」：有効と認める。 (○)

[旗を斜め上にあげる]

「無効」：有効と認めない。 (×)

[旗を体の前下で左右に振る]

「棄権」：分からぬ。(△)

[旗を体の前下で交差し止める]

審判員の表示			判 定
○	○	○	1本となる
○	○	×	同 上
○	○	△	同 上
○	△	△	同 上
○	×	△	1本にならない
○	×	×	同 上

[反則]

試合を公正に行わせるため、禁止事項があり、これを犯したときは「反則」とし、1試合中に反則を2回犯すと相手に1本を与えます。

《主な反則行為》

場外行為・・・・・・両足とも試合場外に出る

不正握り・・・・・・木銃の規定外のところを握った構え

手払い・・・・・・相手の木銃を手で払う行為

接近長し・・・・・・試合者が接近し10秒以上離れようとしない行為

不当な押し出し・・・・相手を不当（強引）に場外に押し出す

手がけ・足掛け・・・・相手に手をかけたり足をかけたりする行為

打撃行為・・・・・・故意に木銃で相手の身体を打つなど身体に危険が伴う行為

木銃握り・・・・・・相手の木銃を握る行為

木銃落し・・・・・・自分の木銃を落とす行為または故意に相手の木銃を落とそうとする行為

進行妨害・・・・・・不当な試合中止を要請する行為

姿勢不良・・・・・・姿勢を崩し左腕でつく部分を隠す行為



銃剣道競技

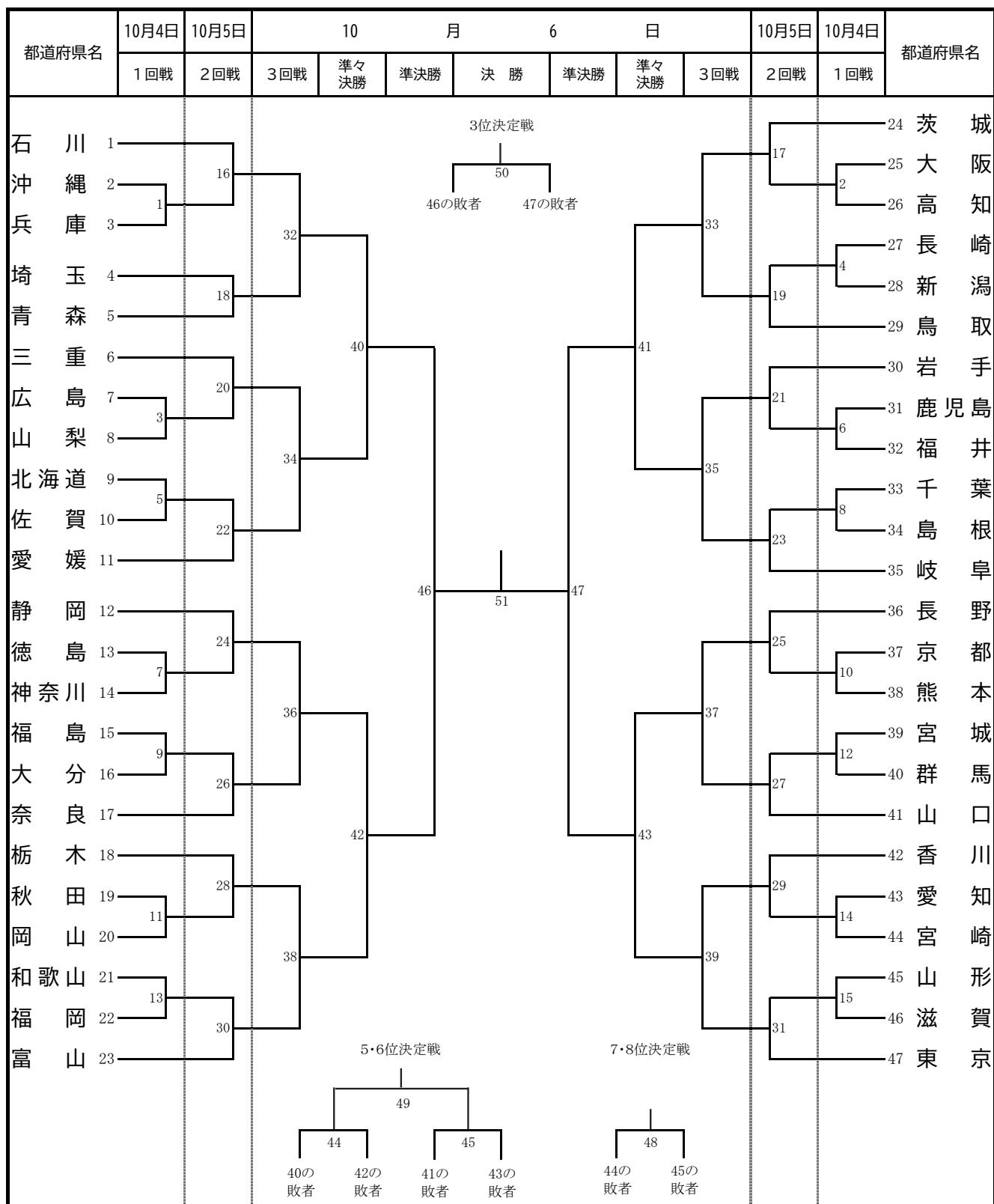
競技日程

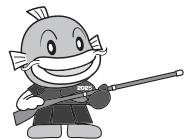
審 判 会 議	10月 3 日 (金)	16時30分	高島市役所新館 3階会議室9
監 督 会 議	10月 3 日 (金)	17時00分	高島市役所新館 3階会議室10・11・12

会 場 : 新旭体育館

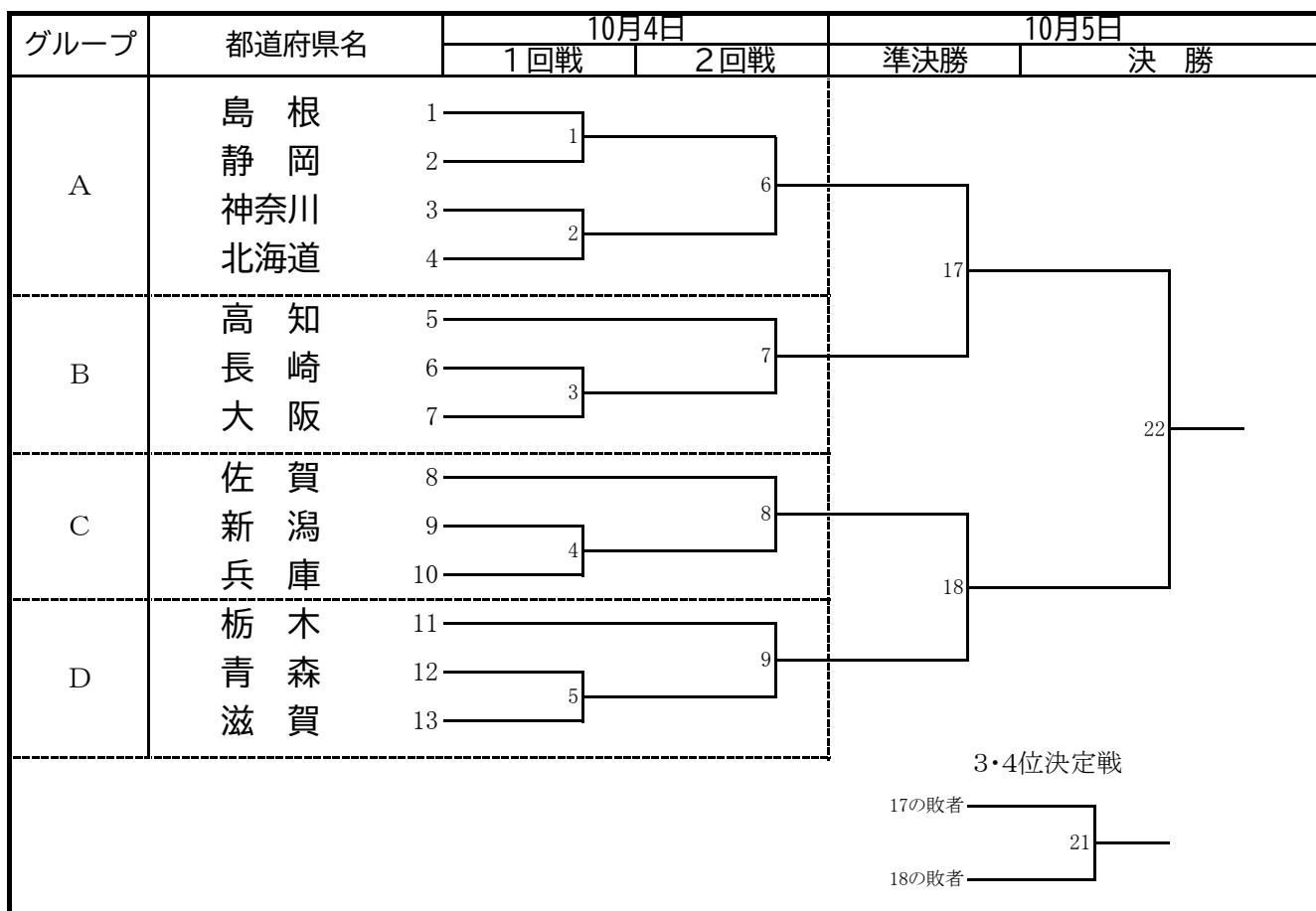
10月 4 日 (土)	10月 5 日 (日)	10月 6 日 (月)
<p>公開演技① 8:40～8:55</p>	<p>成年男子 2回戦 【12試合】 9:00～12:30</p> <p>昼 食 12:30～13:00</p> <p>成年男子 2回戦 【4試合】 13:00～14:10</p> <p>少年男子 指定トーナメント 3回戦 【2試合】 14:10～14:40</p> <p>少年男子 準決勝戦 【2試合】 14:40～15:10</p> <p>少年男子 指定トーナメント 1・2回戦 【9試合】 10:00～12:00</p> <p>昼 食 12:00～12:30</p> <p>少年男子 指定トーナメント 1・2回戦 【5試合】 12:30～13:30</p> <p>成年男子 1回戦 【15試合】 13:30～17:45</p>	<p>成年男子 3回戦 【8試合】 9:00～11:15</p> <p>成年男子 準々決勝戦 【4試合】 11:15～12:25</p> <p>昼 食 12:25～12:55</p> <p>成年男子 5～8位決定戦 1回戦 【2試合】 12:55～13:30</p> <p>成年男子 準決勝戦 【2試合】 13:30～14:10</p> <p>成年男子 7・8位決定戦 【1試合】 14:10～14:27</p> <p>成年男子 5・6位決定戦 【1試合】 14:27～14:45</p> <p>成年男子 3・4位決定戦 【1試合】 14:45～15:05</p> <p>成年男子 決勝戦 【1試合】 15:05～15:25</p> <p>公開演技③ 15:30～16:05</p>
	<p>公開演技② 16:15～16:30</p>	<p>少年男子 表彰式 16:35～16:50</p>
		<p>成年男子 表彰式 16:10～16:30</p>
		<p>総合表彰式 16:30～17:00</p>

組合せ表【成年男子】

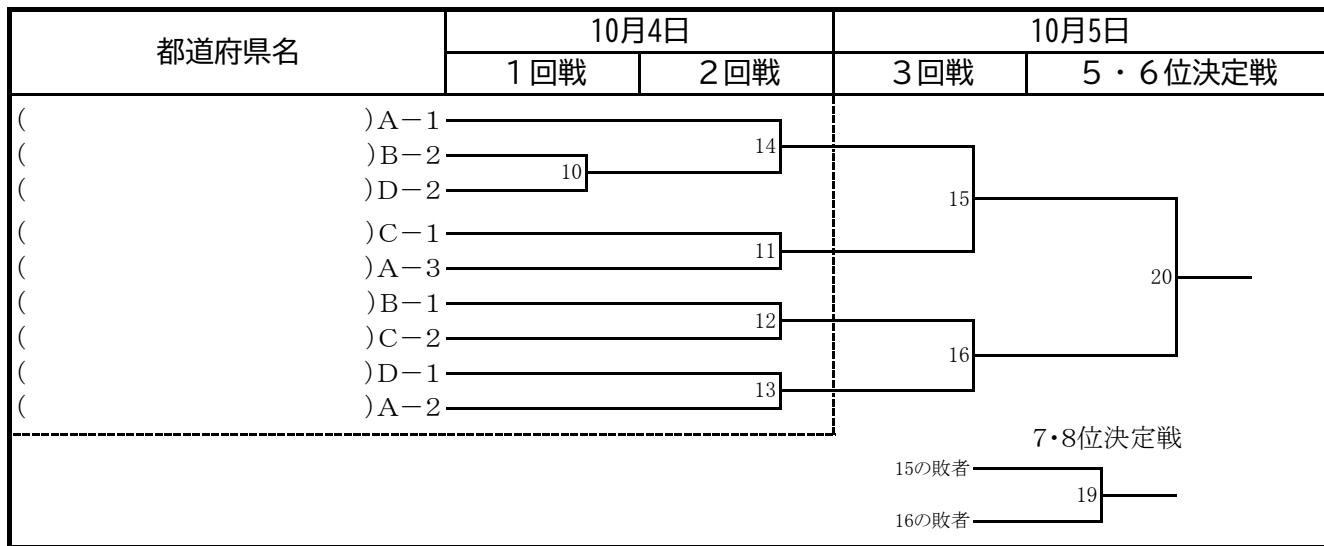




組合せ表【少年男子】



【 指定トーナメント 】



注：指定トーナメントは、1次トーナメント1回戦・2回戦の敗者で行う。

指定トーナメントの番号は1次トーナメントグループの番号の若い順とし、
A 1・2・3その他は1・2として組み合わせる。

銃剣道競技成績表

[成年男子]

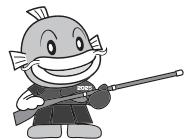
順位	都道府県名	得点
1		24
2		21
3		18
4		15
5		12
6		9
7		6
8		3

[少年男子]

順位	都道府県名	得点
1		24
2		21
3		18
4		15
5		12
6		9
7		6
8		3

[総合]

順位	都道府県名	種別競技得点		参加得点	総合得点
		成年男子	少年男子		
1				10	
2				10	
3				10	
4				10	
5				10	
6				10	
7				10	
8				10	



都道府県別参加人員一覧表

番号	都道府県	成年男子	少年男子	監督(少年のみ)	合計
1	北海道	3	3	1	7
2	青森県	3	3	1	7
3	岩手県	3			3
4	宮城県	3			3
5	秋田県	3			3
6	山形県	3			3
7	福島県	3			3
8	茨城県	3			3
9	栃木県	3	3	1	7
10	群馬県	3			3
11	埼玉県	3			3
12	千葉県	3			3
13	東京都	3			3
14	神奈川県	3	3	1	7
15	山梨県	3			3
16	新潟県	3	3	1	7
17	長野県	3			3
18	富山县	3			3
19	石川県	3			3
20	福井県	3			3
21	静岡県	3	3	1	7
22	愛知県	3			3
23	三重県	3			3
24	岐阜県	3			3
25	京都府	3			3
26	大阪府	3	3	1	7
27	兵庫県	3	3	1	7
28	奈良県	3			3
29	和歌山县	3			3
30	鳥取県	3			3
31	島根県	3	3	1	7
32	岡山县	3			3
33	広島県	3			3
34	山口県	3			3
35	香川県	3			3
36	徳島県	3			3
37	愛媛県	3			3
38	高知県	3	3	1	7
39	福岡県	3			3
40	佐賀県	3	3	1	7
41	長崎県	3	3	1	7
42	熊本県	3			3
43	大分県	3			3
44	宮崎県	3			3
45	鹿児島県	3			3
46	沖縄県	3			3
47	滋賀県	3	3	1	7
	合計	141	39	13	193

※成年の監督は、選手のうち公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認銃剣道コーチ1、公認銃剣道コーチ2いづれかの資格を有する者が兼任する。

参加選手・監督一覧表【成年男子】

都道府県名	位置	氏 名	称号段位	勤務先・学校名
北海道	監督	遠藤 順也	鍊士 六段	陸上自衛隊第11普通科連隊
	先鋒	遠藤 順也	鍊士 六段	陸上自衛隊第11普通科連隊
	中堅	柴田 將誠	鍊士 六段	陸上自衛隊第11普通科連隊
	大将	小林 凌太	鍊士 六段	陸上自衛隊第11普通科連隊
青森県	監督	本堂 喜洋	鍊士 六段	青森自衛隊
	先鋒	本堂 喜洋	鍊士 六段	青森自衛隊
	中堅	越野 祐也	鍊士 六段	青森自衛隊
	大将	唐牛 良輔	鍊士 六段	青森自衛隊
岩手県	監督	芳賀 淳一	教士 七段	岩手県銃剣道連盟
	先鋒	小森田 優輝	— 五段	陸上自衛隊岩手駐屯地
	中堅	吉田 琉太郎	— 三段	陸上自衛隊岩手駐屯地
	大将	芳賀 淳一	教士 七段	岩手県銃剣道連盟
宮城県	監督	有馬 誠二	教士 七段	陸上自衛隊第10施設群
	先鋒	菅野 宏	鍊士 六段	陸上自衛隊第22即応機動連隊
	中堅	有馬 誠二	教士 七段	陸上自衛隊第10施設群
	大将	北翔吾	鍊士 六段	陸上自衛隊第22即応機動連隊
秋田県	監督	川村 信司	教士 七段	第21普通科連隊(自衛隊)
	先鋒	松岡 英知	鍊士 六段	第21普通科連隊(自衛隊)
	中堅	長尾 一宏	— 五段	第21普通科連隊(自衛隊)
	大将	川村 信司	教士 七段	第21普通科連隊(自衛隊)
山形県	監督	結城 翔一朗	教士 七段	陸上自衛隊第20普通科連隊
	先鋒	大場 義恭	鍊士 七段	陸上自衛隊第20普通科連隊
	中堅	佐藤 周	— 五段	陸上自衛隊第20普通科連隊
	大将	結城 翔一朗	教士 七段	陸上自衛隊第20普通科連隊
福島県	監督	菅野 学	教士 七段	福島県銃剣道連盟
	先鋒	吉田 達也	— 五段	第44普通科連隊
	中堅	遠藤 真一郎	鍊士 六段	第44普通科連隊
	大将	菅野 学	教士 七段	福島県銃剣道連盟
茨城県	監督	森 靖夫	鍊士 七段	茨城県銃剣道連盟
	先鋒	額賀 教尾	— 五段	茨城県銃剣道連盟
	中堅	森 靖夫	鍊士 七段	茨城県銃剣道連盟
	大将	鈴木 未沙人	鍊士 六段	茨城県銃剣道連盟



都道府県名	位置	氏 名	称号段位	勤務先・学校名
栃木県	監督	荒井崇広	鍊士 六段	陸上自衛隊宇都宮駐屯地
	先鋒	鈴木太一	鍊士 六段	陸上自衛隊宇都宮駐屯地
	中堅	平嶋大地	教士 七段	陸上自衛隊北宇都宮駐屯地
	大将	荒井崇広	鍊士 六段	陸上自衛隊宇都宮駐屯地
群馬県	監督	中沢元貴	鍊士 六段	陸上自衛隊
	先鋒	宮下聖也	鍊士 六段	陸上自衛隊
	中堅	石田哲也	鍊士 六段	陸上自衛隊
	大将	中沢元貴	鍊士 六段	陸上自衛隊
埼玉県	監督	高松瑞紀	鍊士 六段	第32普通科連隊
	先鋒	鈴木彦彥	鍊士 六段	第32普通科連隊
	中堅	高松瑞紀	鍊士 六段	第32普通科連隊
	大将	森山駿	鍊士 七段	第32普通科連隊
千葉県	監督	進野永吉	鍊士 六段	陸上自衛隊第1空挺団
	先鋒	大谷真平	一 五段	陸上自衛隊第1空挺団
	中堅	前田隼人	一 五段	陸上自衛隊第1空挺団
	大将	進野永吉	鍊士 六段	陸上自衛隊第1空挺団
東京都	監督	福田賢二	鍊士 六段	陸上自衛隊 練馬駐屯地
	先鋒	郷右近光里	一 五段	陸上自衛隊 練馬駐屯地
	中堅	福田賢二	鍊士 六段	陸上自衛隊 練馬駐屯地
	大将	蚊口武丸	一 五段	陸上自衛隊 練馬駐屯地
神奈川県	監督	鈴木崇之	鍊士 六段	株式会社相模メール
	先鋒	鈴木崇之	鍊士 六段	株式会社相模メール
	中堅	野田峻祐	鍊士 六段	エーアンドエー工事(株)
	大将	佐々木聰	鍊士 六段	陸上自衛隊武山駐屯地
山梨県	監督	雨宮嶺人	鍊士 六段	甲府市役所
	先鋒	雨宮嶺人	鍊士 六段	甲府市役所
	中堅	井澤周作	鍊士 六段	ケル株式会社
	大将	菅本大樹	一 五段	北富士駐屯地東部方面特科連隊
新潟県	監督	滝沢元氣	教士 七段	県立小千谷西高等学校(教)
	先鋒	笠原悠	鍊士 七段	陸上自衛隊第四普通科連隊
	中堅	近藤史章	鍊士 六段	陸上自衛隊第三十普通科連隊
	大将	滝沢元氣	教士 七段	県立小千谷西高等学校(教)

都道府県名	位置	氏 名	称号段位	勤務先・学校名
長野県	監督	柳澤祐太	鍊士 六段	松本駐屯地 第13普通科連隊
	先鋒	渡邊真也	一 五段	松本駐屯地 第13普通科連隊
	中堅	柳澤祐太	鍊士 六段	松本駐屯地 第13普通科連隊
	大将	荒田陽輔	鍊士 六段	松本駐屯地 第13普通科連隊
富山县	監督	折本竜飛	一 五段	富山県銃剣道連盟
	先鋒	折本竜飛	一 五段	富山県銃剣道連盟
	中堅	廣瀬敬久	鍊士 七段	富山県銃剣道連盟
	大将	浦上創	一 五段	富山県銃剣道連盟
石川県	監督	竹島慎一郎	教士 七段	金沢陸上自衛隊
	先鋒	林龍希	一 初段	金沢陸上自衛隊
	中堅	小西竜生	一 六段	金沢陸上自衛隊
	大将	竹島慎一郎	教士 七段	金沢陸上自衛隊
福井県	監督	石川治樹	教士 七段	自衛隊福井地方協力本部
	先鋒	石川治樹	教士 七段	自衛隊福井地方協力本部
	中堅	山田龍	一 三段	陸上自衛隊鯖江駐屯地
	大将	高島潤平	鍊士 六段	陸上自衛隊鯖江駐屯地
静岡県	監督	西村健	教士 七段	陸上自衛隊滝ヶ原駐屯地
	先鋒	岩崎成希	一 五段	陸上自衛隊滝ヶ原駐屯地
	中堅	西村健	教士 七段	陸上自衛隊滝ヶ原駐屯地
	大将	佐藤岳	教士 七段	陸上自衛隊滝ヶ原駐屯地
愛知県	監督	安川宏仁	一 五段	愛知県銃剣道連盟
	先鋒	安川宏仁	一 五段	愛知県銃剣道連盟
	中堅	矢島大介	教士 七段	愛知県銃剣道連盟
	大将	後藤尚希	一 五段	愛知県銃剣道連盟
三重県	監督	春日井卓弥	一 五段	陸上自衛隊久居駐屯地
	先鋒	分藤宜文	一 五段	陸上自衛隊久居駐屯地
	中堅	長谷川公亮	一 五段	陸上自衛隊久居駐屯地
	大将	春日井卓弥	一 五段	陸上自衛隊久居駐屯地
岐阜県	監督	池戸渉	鍊士 六段	陸上自衛隊第35普通科連隊
	先鋒	池戸渉	鍊士 六段	陸上自衛隊第35普通科連隊
	中堅	二宮結威人	一 三段	有限会社 K.D.S
	大将	谷山輝光	鍊士 六段	航空自衛隊中部高射群第1高射隊市ヶ谷分遣班



都道府県名	位置	氏 名	称号段位	勤務先・学校名
京都府	監督	町元 良二	鍊士 六段	陸上自衛隊福知山駐屯地
	先鋒	竹井 広次	鍊士 六段	陸上自衛隊福知山駐屯地
	中堅	町元 良二	鍊士 六段	陸上自衛隊福知山駐屯地
	大将	吉武 克識	鍊士 六段	陸上自衛隊福知山駐屯地
大阪府	監督	古浦 拓実	一 五段	陸上自衛隊 37普連
	先鋒	内海 大和	鍊士 六段	陸上自衛隊 37普連
	中堅	古浦 拓実	一 五段	陸上自衛隊 37普連
	大将	松尾 一成	一 五段	陸上自衛隊 37普連
兵庫県	監督	新村 伸隆	教士 七段	陸上自衛隊 第3後方支援連隊
	先鋒	増田 道仁	鍊士 六段	兵庫県庁 芸術文化課
	中堅	新村 伸隆	教士 七段	陸上自衛隊 第3後方支援連隊
	大将	岡忠治	鍊士 六段	陸上自衛隊 中部方面特科連隊
奈良県	監督	幸野 哲宏	教士 七段	中信総合サービスKK
	先鋒	帶刀 紘	一 五段	航空自衛隊幹部候補生学校
	中堅	幸野 哲宏	教士 七段	中信総合サービスKK
	大将	新堀 佑真	鍊士 六段	陸上自衛隊伊丹駐屯地
和歌山県	監督	榎本 篤	教士 七段	有限会社昭和建設
	先鋒	辻本 隼己	一 三段	社会福祉法人東洋会養護老人ホーム喜望園
	中堅	藤原 勝久	一 初段	陸上自衛隊和歌山駐屯地
	大将	榎本 篤	教士 七段	有限会社昭和建設
鳥取県	監督	井ノ上 仁	教士 七段	陸上自衛隊 米子駐屯地
	先鋒	井ノ上 仁	教士 七段	陸上自衛隊 米子駐屯地
	中堅	平尾 友道	鍊士 七段	陸上自衛隊 米子駐屯地
	大将	山田 拓磨	一 初段	陸上自衛隊 米子駐屯地
島根県	監督	藤崎 祥一	鍊士 六段	陸上自衛隊出雲駐屯地
	先鋒	高橋 宏行	一 五段	陸上自衛隊出雲駐屯地
	中堅	平石 一樹	一 五段	陸上自衛隊出雲駐屯地
	大将	藤崎 祥一	鍊士 六段	陸上自衛隊出雲駐屯地
岡山県	監督	植田 晋悟	教士 七段	日本原駐屯地
	先鋒	植田 晋悟	教士 七段	日本原駐屯地
	中堅	松延 靖大	鍊士 六段	日本原駐屯地
	大将	藤原 考貴	教士 七段	日本原駐屯地

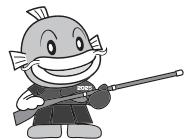
都道府県名	位置	氏 名	称号段位	勤務先・学校名
広島県	監督	河端 勇樹	鍊士 六段	第46普通科連隊
	先鋒	河端 勇樹	鍊士 六段	第46普通科連隊
	中堅	矢上 智之	鍊士 六段	第46普通科連隊
	大将	川越 鉄也	鍊士 六段	第46普通科連隊
山口県	監督	松本 秀雄	教士 七段	陸上自衛隊第17普通科連隊
	先鋒	茂庭 将貴	鍊士 六段	陸上自衛隊第17普通科連隊
	中堅	藤井 星丸	鍊士 六段	陸上自衛隊第17普通科連隊
	大将	松本 秀雄	教士 七段	陸上自衛隊第17普通科連隊
香川県	監督	田嶋 啓一	鍊士 六段	第15即応機動連隊
	先鋒	増本 秀信	鍊士 六段	第15即応機動連隊
	中堅	田嶋 啓一	鍊士 六段	第15即応機動連隊
	大将	田嶋 航大	鍊士 六段	第15即応機動連隊
徳島県	監督	二宮 悠誠	一 五段	陸上自衛隊第14施設隊
	先鋒	二宮 悠誠	一 五段	陸上自衛隊第14施設隊
	中堅	國生 康介	一 三段	陸上自衛隊第14施設隊
	大将	飯島 克啓	一 五段	陸上自衛隊第14施設隊
愛媛県	監督	徳田 裕人	教士 七段	陸上自衛隊松山駐屯地
	先鋒	徳田 裕人	教士 七段	陸上自衛隊松山駐屯地
	中堅	白石 尚也	一 五段	陸上自衛隊松山駐屯地
	大将	川上 立祥	一 五段	陸上自衛隊松山駐屯地
高知県	監督	岡田 直	鍊士 六段	高知県銃剣道連盟
	先鋒	西岡 純矢	鍊士 六段	高知県銃剣道連盟
	中堅	岡田 直	鍊士 六段	高知県銃剣道連盟
	大将	政岡 幸汰	鍊士 六段	高知県銃剣道連盟
福岡県	監督	松尾 孝次朗	一 五段	第40普通科連隊
	先鋒	銅直 勝巳	鍊士 六段	第40普通科連隊
	中堅	松尾 孝次朗	一 五段	第40普通科連隊
	大将	蛯原 玄太	鍊士 六段	第40普通科連隊
佐賀県	監督	岩永 健太	教士 七段	第19普通科連隊
	先鋒	岡崎 祐介	鍊士 六段	第19普通科連隊
	中堅	吉田 充宏	鍊士 六段	普通科教導連隊
	大将	岩永 健太	教士 七段	第19普通科連隊



都道府県名	位置	氏 名	称号段位	勤務先・学校名
長崎県	監督	中前圭輔	鍊士 七段	陸上自衛隊大村駐屯地
	先鋒	馬場大地	鍊士 七段	陸上自衛隊大村駐屯地
	中堅	中前圭輔	鍊士 七段	陸上自衛隊大村駐屯地
	大将	高濱雄太	鍊士 七段	陸上自衛隊大村駐屯地
熊本県	監督	緒田慶一朗	教士 七段	第42即応機動連隊
	先鋒	緒田慶一朗	教士 七段	第42即応機動連隊
	中堅	井上聖太	鍊士 六段	第42即応機動連隊
	大将	宮本翔	鍊士 六段	第42即応機動連隊
大分県	監督	松山昌樹	鍊士 七段	陸上自衛隊別府駐屯地
	先鋒	甲斐友也	鍊士 六段	陸上自衛隊別府駐屯地
	中堅	松山昌樹	鍊士 七段	陸上自衛隊別府駐屯地
	大将	福島聰一	鍊士 五段	陸上自衛隊別府駐屯地
宮崎県	監督	平野正徳	鍊士 七段	第43普通科連隊
	先鋒	平野正徳	鍊士 七段	第43普通科連隊
	中堅	皆越和人	鍊士 六段	第43普通科連隊
	大将	八木達矢	鍊士 七段	第43普通科連隊
鹿児島県	監督	井下佑也	鍊士 七段	陸上自衛隊国分駐屯地
	先鋒	中村憲剛	鍊士 六段	陸上自衛隊国分駐屯地
	中堅	井下佑也	鍊士 七段	陸上自衛隊国分駐屯地
	大将	内村洋平	鍊士 六段	陸上自衛隊国分駐屯地
沖縄県	監督	洲鎌栄作	鍊士 六段	陸上自衛隊那覇駐屯地
	先鋒	大久保就矢	鍊士 六段	陸上自衛隊那覇駐屯地
	中堅	山内佑太	鍊士 六段	陸上自衛隊那覇駐屯地
	大将	洲鎌栄作	鍊士 六段	陸上自衛隊那覇駐屯地
滋賀県	監督	宮内佑輔	鍊士 六段	長浜市立高月中学校(教)
	先鋒	平田悠朗	鍊士 六段	陸上自衛隊 第37普通科連隊
	中堅	吉見和也	鍊士 六段	陸上自衛隊 今津駐屯地業務隊
	大将	宮内佑輔	鍊士 六段	長浜市立高月中学校(教)

参加選手・監督一覧表【少年男子】

都道府県名	位置	氏 名	称号段位	勤務先・学校名
北海道	監督	寒河江 正博	教士 八段	陸上自衛隊名寄駐屯地
	先鋒	谷 武藏	一 三段	北海道名寄高等学校
	中堅	石山 蓮	一 二段	北海道名寄高等学校
	大将	石山 韶	一 二段	北海道名寄高等学校
青森県	監督	佐藤 高志	一 五段	青森山田高等学校(教)
	先鋒	雪田 怜央	一 初段	青森山田高等学校
	中堅	大畠 空雅	一 初段	青森山田高等学校
	大将	木田 ヒイロ	一 一	青森山田高等学校
栃木県	監督	鈴木 利広	教士 八段	栃木県銃剣道連盟
	先鋒	小林 玲央	一 初段	文星芸術大学附属高等学校
	中堅	野村 空汰	一 初段	文星芸術大学附属高等学校
	大将	設樂 栄吾	一 二段	文星芸術大学附属高等学校
神奈川県	監督	出町 太一	鍊士 六段	陸上自衛隊武山駐屯地
	先鋒	前川 礼	一 三段	県立横浜修悠館高等学校
	中堅	志賀 博太郎	一 二段	県立横浜修悠館高等学校
	大将	馬場 怜音	一 二段	県立横浜修悠館高等学校
新潟県	監督	長谷川 元	教士 八段	新潟県農業総合研究所畜産研究センター
	先鋒	大桃 紘都	一 二段	創進学園高等学校
	中堅	滝沢 格士	一 二段	中越高等学校
	大将	小池 健太	一 二段	県立加茂高等学校
静岡県	監督	稻垣 勝也	教士 七段	株式会社 サカモト
	先鋒	大濱 和生	一 二段	県立掛川東高等学校
	中堅	綿貫 淳之介	一 二段	県立掛川東高等学校
	大将	大石 幸村	一 二段	県立掛川工業高等学校
大阪府	監督	松下 尚一	教士 七段	大阪府銃剣道連盟
	先鋒	村上 公太	一 初段	大阪府銃剣道連盟
	中堅	出野 翔大	一 初段	大阪府銃剣道連盟
	大将	井上 慧深	一 二段	大阪府銃剣道連盟
兵庫県	監督	扶川 壽保	教士 八段	神戸ダイヤメンテナンス株式会社
	先鋒	合田 稜翔	一 初段	神戸市立工業高等専門学校
	中堅	池淵 姫志	一 初段	東洋大学附属姫路高等学校
	大将	徳丸 竜晟	一 三段	神戸市立工業高等専門学校



都道府県名	位置	氏 名	称号段位	勤務先・学校名
島根県	監督	古 和一秋	一 六段	陸上自衛隊出雲駐屯地
	先鋒	小 池晴日	一 初段	出雲西高等学校
	中堅	本 間大生	一 初段	出雲西高等学校
	大将	周 藤健太郎	一 二段	出雲西高等学校
高知県	監督	青 木 将悟	鍊士 六段	高知県銃剣道連盟
	先鋒	森 本 海	一 二段	高知中央高等学校
	中堅	山 城 名以	一 三段	高知中央高等学校
	大将	森 下 桜太朗	一 初段	高知中央高等学校
佐賀県	監督	河 合 大 地	教士 七段	佐賀県銃剣道連盟
	先鋒	土 井 快 太	一 初段	佐賀県立白石高等学校
	中堅	正 寶 洋 輝	一 二段	佐賀県立佐賀農業高等学校
	大将	林 口 怜 雅	一 二段	佐賀県立佐賀農業高等学校
長崎県	監督	北 慎一郎	教士 七段	陸上自衛隊大村駐屯地
	先鋒	入 口 陽 斗	一 初段	長崎県立諫早農業高等学校
	中堅	赤 瀬 怜 央	一 初段	長崎県立大村高等学校
	大将	小 山 哲 央	一 初段	鎮西学院高等学校
滋賀県	監督	寺 村 大 佑	教士 七段	うるしみりの天佑堂
	先鋒	潮 見 涼 成	一 二段	滋賀県立長浜北星高等学校
	中堅	河 崎 玲 陽	一 二段	滋賀県立長浜北星高等学校
	大将	渡 辺 一 徳	一 二段	滋賀県立長浜北星高等学校

総合成績一覧表

番号	都道府県	成年男子		少年男子		総合得点		
		競技得点	順位	競技得点	順位	合計得点	参加得点	総合得点
1	北海道							
2	青森県							
3	岩手県							
4	宮城県							
5	秋田県							
6	山形県							
7	福島県							
8	茨城県							
9	栃木県							
10	群馬県							
11	埼玉県							
12	千葉県							
13	東京都							
14	神奈川県							
15	山梨県							
16	新潟県							
17	長野県							
18	富山县							
19	石川県							
20	福井県							
21	静岡県							
22	愛知県							
23	三重県							
24	岐阜県							
25	滋賀県							
26	京都府							
27	大阪府							
28	兵庫県							
29	奈良県							
30	和歌山县							
31	鳥取県							
32	島根県							
33	岡山県							
34	広島県							
35	山口県							
36	香川県							
37	徳島県							
38	愛媛県							
39	高知県							
40	福岡県							
41	佐賀県							
42	長崎県							
43	熊本県							
44	大分県							
45	宮崎県							
46	鹿児島県							
47	沖縄県							



過去の成績一覧表

回	開催地	区分	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位
第50回	福島県 須賀川市	少年	福島県	富山県	山形県	北海道	熊本県	神奈川県	滋賀県	宮崎県
		成年	千葉県	北海道	福島県	熊本県	長崎県	宮城県	宮崎県	東京都
		総合	福島県	北海道	熊本県	千葉県	富山県	山形県	長崎県	宮城県・宮崎県 神奈川県
第51回	広島県 倉橋町	少年	北海道	滋賀県	大分県	愛知県	熊本県	香川県	島根県	福島県
		成年	宮城県	広島県	福島県	愛知県	千葉県	大阪府	山形県	神奈川県
		総合	愛知県	北海道・宮城県		広島県・福島県・滋賀県		大分県		千葉県・熊本県
第52回	大阪府 東大阪市	少年	京都府	熊本県	神奈川県	島根県	愛知県	福島県	滋賀県	山梨県
		成年	宮城県	千葉県	北海道	熊本県	山形県	青森県	福島県	東京都
		総合	熊本県	宮城県・京都府		千葉県	北海道・神奈川県		福島県・島根県	
第53回	神奈川県 寒川町	少年	神奈川県	熊本県	埼玉県	福島県	愛知県	山梨県	島根県	香川県
		成年	石川県	愛知県	山形県	千葉県	宮城県	埼玉県	東京都	新潟県
		総合	愛知県	埼玉県	石川県・神奈川県		熊本県	山形県	千葉県・福島県	
第54回	熊本県 泗水市	少年	熊本県	神奈川県	愛知県	滋賀県	福島県	山梨県	鹿児島県	香川県
		成年	熊本県	長崎県	北海道	山形県	福岡県	東京都	香川県	石川県
		総合	熊本県	長崎県・神奈川県		北海道・愛知県		山形県・滋賀県		福岡県・福島県
第55回	富山県 山田村	少年	宮城県	福島県	神奈川県	広島県	大阪府	北海道	鹿児島県	熊本県
		成年	富山県	福岡県	石川県	山形県	福島県	千葉県	長野県	埼玉県
		総合	福島県	富山県・宮城県		福岡県	石川県・神奈川県		山形県・広島県	
第56回	宮城県 多賀城市	少年	北海道	宮城県	熊本県	山梨県	神奈川県	香川県	広島県	奈良県
		成年	長崎県	千葉県	宮城県	鹿児島県	三重県	新潟県	大分県	熊本県
		総合	宮城県	長崎県	北海道	千葉県・熊本県		鹿児島県・山梨県		三重県・神奈川県
第57回	高知県 芸西村	少年	神奈川県	北海道	宮城県	福島県	香川県	熊本県	静岡県	埼玉県
		成年	宮城県	北海道	山形県	静岡県	東京都	鹿児島県	静岡県	埼玉県
		総合	宮城県・北海道	神奈川県	静岡県	山形県	福島県		東京都・香川県	
第58回	静岡県 小山町	少年	北海道	埼玉県	宮城県	鹿児島県	神奈川県	三重県	静岡県	滋賀県
		成年	熊本県	長崎県	宮城県	宮崎県	福岡県	鹿児島県	東京都	北海道
		総合	宮城県	北海道	熊本県・鹿児島県		長崎県・埼玉県		宮崎県	福岡県・神奈川県
第59回	埼玉県 岡部町	少年	神奈川県	宮城県	静岡県	高知県	埼玉県	北海道	熊本県	鹿児島県
		成年	長崎県	宮城県	埼玉県	新潟県	熊本県	静岡県	福島県	福岡県
		総合	宮城県	埼玉県	静岡県	長崎県・神奈川県	熊本県		新潟県・高知県	
第60回	岡山県 奈義町	少年	北海道	岡山県	埼玉県	熊本県	神奈川県	兵庫県	香川県	鳥取県
		成年	福島県	東京都	香川県	長崎県	千葉県	岡山県	新潟県	静岡県
		総合	岡山県	香川県・北海道・福島県		東京都	埼玉県		長崎県・熊本県	
第61回	兵庫県 宍粟市	少年	埼玉県	北海道	神奈川県	石川県	香川県	兵庫県	岡山県	熊本県
		成年	東京都	千葉県	大阪府	群馬県	福島県	長崎県	宮崎県	北海道
		総合	東京都・埼玉県・北海道		千葉県	大阪府・神奈川県		群馬県・石川県		
第62回	秋田県 由利本荘市	少年	北海道	埼玉県	秋田県	香川県	宮城県	熊本県	岡山県	大阪府
		成年	秋田県	宮城県	大阪府	岡山県	山形県	静岡県	北海道	長崎県
		総合	秋田県	宮城県	北海道	大阪府	岡山県	埼玉県	香川県	山形県

回	開催地	区分	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位
第63回	大分県由布市	少年	北海道	埼玉県	香川県	愛知県	神奈川県	岡山県	大阪府	鹿児島県
		成年	大分県	熊本県	長崎県	香川県	東京都	福岡県	北海道	石川県
		総合	香川県	北海道	大分県	熊本県・埼玉県	長崎県	愛知県	東京都・神奈川県	
第64回	新潟県村上市	少年	新潟県	北海道	神奈川県	埼玉県	香川県	石川県	宮城県	三重県
		成年	静岡県	三重県	長崎県	岡山県	東京都	北海道	福岡県	富山県
		総合	北海道	静岡県・三重県・新潟県		長崎県・神奈川県		岡山県・埼玉県		
第65回	千葉県四街道市	少年	千葉県	香川県	神奈川県	北海道	新潟県	熊本県	岡山県	宮城県
		成年	福岡県	長崎県	東京都	宮崎県	香川県	岡山県	愛知県	神奈川県
		総合	香川県	福岡県・千葉県		長崎県・神奈川県	東京都		宮崎県・岡山県・北海道	
第66回	山口県和木町	少年	北海道	宮城県	長崎県	熊本県	神奈川県	香川県	千葉県	岡山県
		成年	熊本県	山口県	静岡県	北海道	宮崎県	埼玉県	宮城県	山形県
		総合	熊本県・北海道	宮城県	山口県	静岡県・長崎県		宮崎県・神奈川県		
第67回	岐阜県各務原市	少年	神奈川県	新潟県	北海道	岡山県	香川県	岐阜県	三重県	東京都
		成年	熊本県	長崎県	東京都	大分県	宮崎県	広島県	千葉県	愛知県
		総合	神奈川県・熊本県		東京都・新潟県・長崎県		北海道		岡山県・大分県	
第68回	東京都練馬区	少年	新潟県	北海道	岐阜県	岩手県	神奈川県	東京都	香川県	京都府
		成年	熊本県	東京都	埼玉県	福岡県	長崎県	山形県	沖縄県	鹿児島県
		総合	東京都	新潟県・熊本県	北海道	埼玉県・岐阜県		岩手県・福岡県		
第69回	長崎県大村市	少年	北海道	神奈川県	香川県	滋賀県	新潟県	長崎県	岩手県	宮城県
		成年	長崎県	大分県	福岡県	佐賀県	石川県	宮崎県	沖縄県	熊本県
		総合	長崎県	北海道	大分県・神奈川県		福岡県・香川県		佐賀県・滋賀県	
第70回	和歌山县海南市	少年	神奈川県	香川県	福島県	長崎県	福岡県	栃木県	和歌山县	愛知県
		成年	長崎県	熊本県	大分県	東京都	鹿児島県	福岡県	福島県	京都府
		総合	長崎県	福島県・神奈川県		熊本県・福岡県・香川県		大分県		東京都
第72回	愛媛県東温市	少年	愛媛県	滋賀県	宮城県	神奈川県	北海道	石川県	鹿児島県	静岡県
		成年	長崎県	静岡県	熊本県	石川県	鹿児島県	沖縄県	福島県	大分県
		総合	愛媛県・石川県・静岡県・長崎県		滋賀県		宮城県・熊本県・鹿児島県			
第75回	鹿児島県霧島市延期	少年								
		成年								
		総合								
第77回	栃木県壬生町	少年	栃木県	高知県	宮城県	三重県	鹿児島県	神奈川県	青森県	佐賀県
		成年	長崎県	栃木県	京都府	熊本県	東京都	埼玉県	高知県	福島県
		総合	栃木県	高知県	長崎県	京都府・宮城県		熊本県・三重県		東京都・鹿児島県
特別国体	鹿児島県霧島市	少年	神奈川県	佐賀県	鹿児島県	愛媛県	北海道	三重県	青森県	島根県
		成年	鹿児島県	佐賀県	山口県	大分県	京都府	宮崎県	栃木県	岡山県
		総合	鹿児島・佐賀県	神奈川県	山口県	大分県	愛媛県		京都府・北海道	
第78回	佐賀県大町町	少年	広島県	高知県	佐賀県	神奈川県	長崎県	北海道	新潟県	鹿児島県
		成年	長崎県	香川県	静岡県	熊本県	大分県	山形県	北海道	東京都
		総合	長崎県	広島県	香川県・高知県	佐賀県・静岡県		北海道・神奈川県・熊本県		

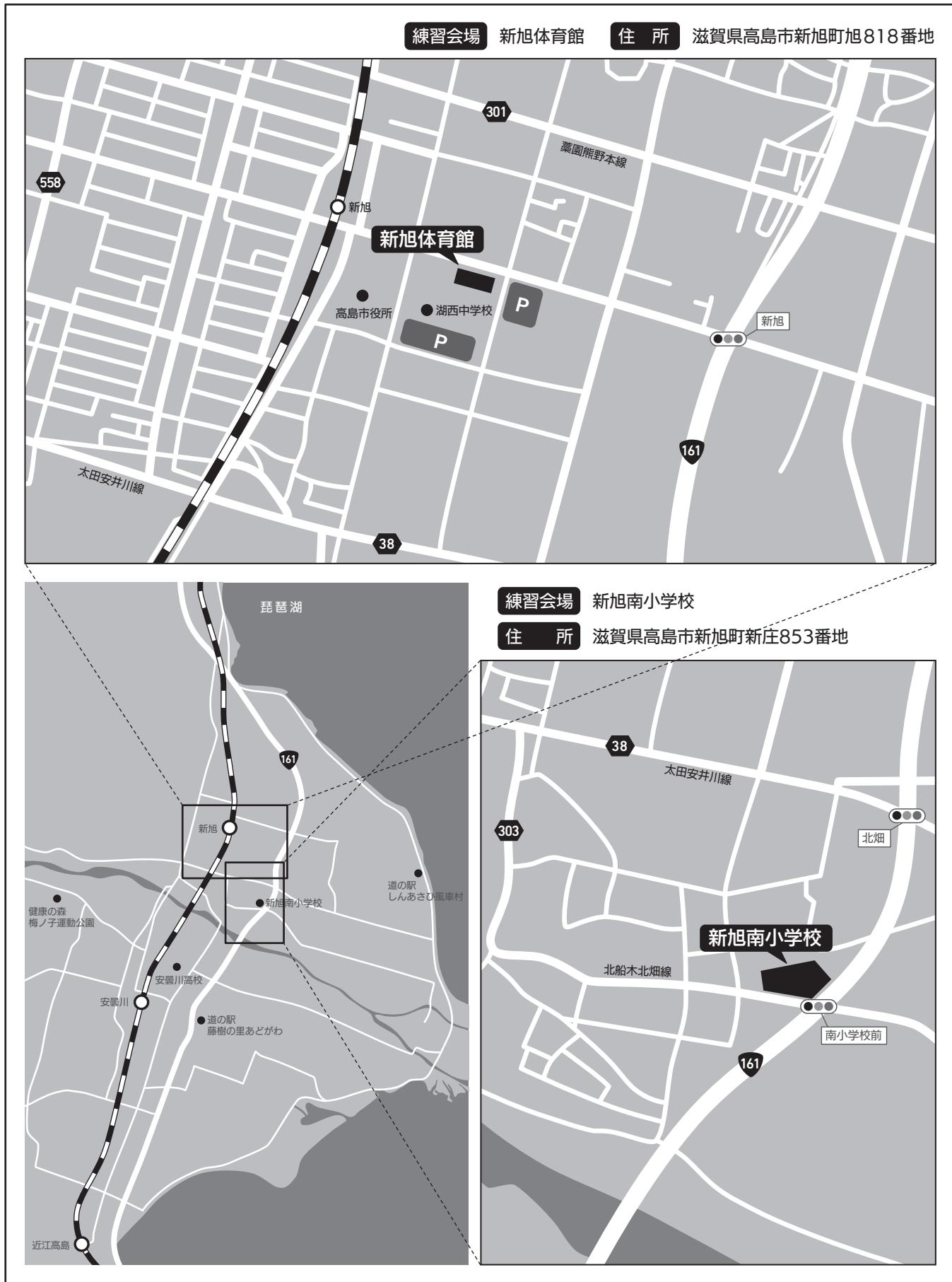


優勝チーム一覧表

回	開催地	成年の部				少年の部			
第66回	山口県 和木町	熊本県	監督	田尻竜三	北海道	監督	田中萬年		
			先鋒	田尻竜三		先鋒	菊川一輝		
			中堅	原田将興		中堅	川崎喜一		
			大将	角康大		大将	植松正平		
第67回	岐阜県 各務原市	熊本県	監督	田尻竜三	神奈川県	監督	矢作孝広		
			先鋒	角康大		先鋒	石山祐輔		
			中堅	原田将興		中堅	野田峻祐		
			大将	田尻竜三		大将	井上竜也		
第68回	東京都 練馬区	熊本県	監督	田尻竜三	新潟県	監督	長谷川元		
			先鋒	田尻竜三		先鋒	渡邊健斗		
			中堅	原田将興		中堅	高井洸太		
			大将	角康大		大将	大谷竜輝		
第69回	長崎県 大村市	長崎県	監督	北慎一郎	北海道	監督	島田学		
			先鋒	尾崎秀次郎		先鋒	小林凌大		
			中堅	北慎一郎		中堅	福田侑麻		
			大将	蘭田泰之		大将	福田龍喜		
第70回	和歌山県 海南市	長崎県	監督	北慎一郎	神奈川県	監督	矢作孝広		
			先鋒	中前圭輔		先鋒	西上優紀		
			中堅	北慎一郎		中堅	坂本篤哉		
			大将	蘭田泰之		大将	鈴木和也		
第72回	愛媛県 東温市	長崎県	監督	北慎一郎	愛媛県	監督	丹下隆之		
			先鋒	永富滋		先鋒	青木蓮		
			中堅	北慎一郎		中堅	青木椋平		
			大将	蘭田泰之		大将	沖原葵		
第75回	鹿児島県 霧島市 延期		監督			監督			
			先鋒			先鋒			
			中堅			中堅			
			大将			大将			
第77回	栃木県 壬生町	長崎県	監督	岩永健太	栃木県	監督	鈴木利広		
			先鋒	高濱雄太		先鋒	大森丈瑠		
			中堅	蘭田泰之		中堅	眞鍋翔吾		
			大将	岩永健太		大将	齋藤広人		
特別国体	鹿児島県 霧島市	鹿児島県	監督	榎園真次	神奈川県	監督	山田明		
			先鋒	榎園真次		先鋒	山本プロウ星哉		
			中堅	井下佑也		中堅	中村銀汰		
			大将	榮貴将		大将	谷誓哉		
第78回	佐賀県 大町町	長崎県	監督	蘭田泰之	広島県	監督	村田興嗣		
			先鋒	蘭田泰之		先鋒	細川柊河		
			中堅	牟田裕宣		中堅	富田健太		
			大将	高濱雄太		大将	細川楓河		

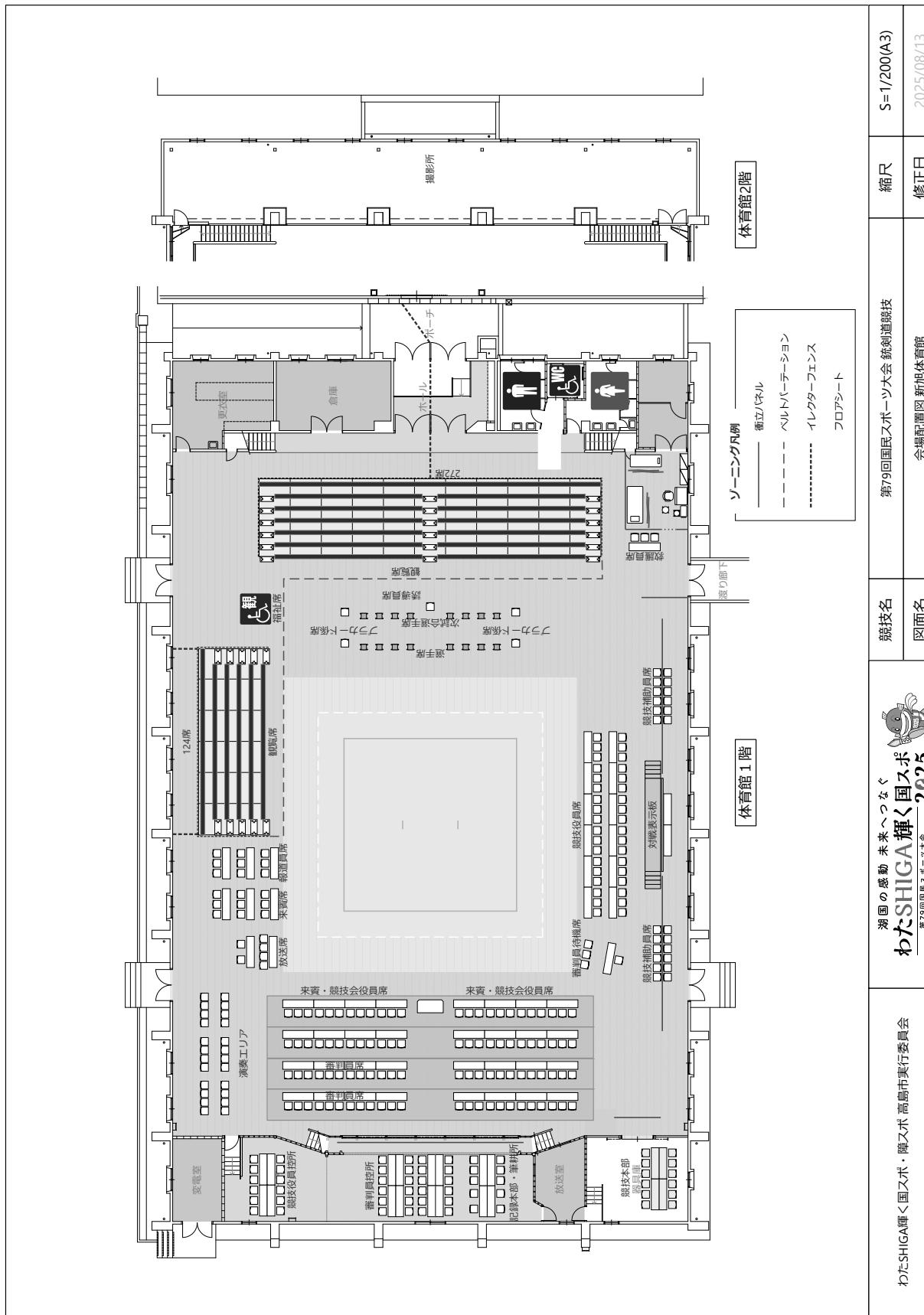
競技会場周辺図・練習会場案内図

・競技会場周辺地図

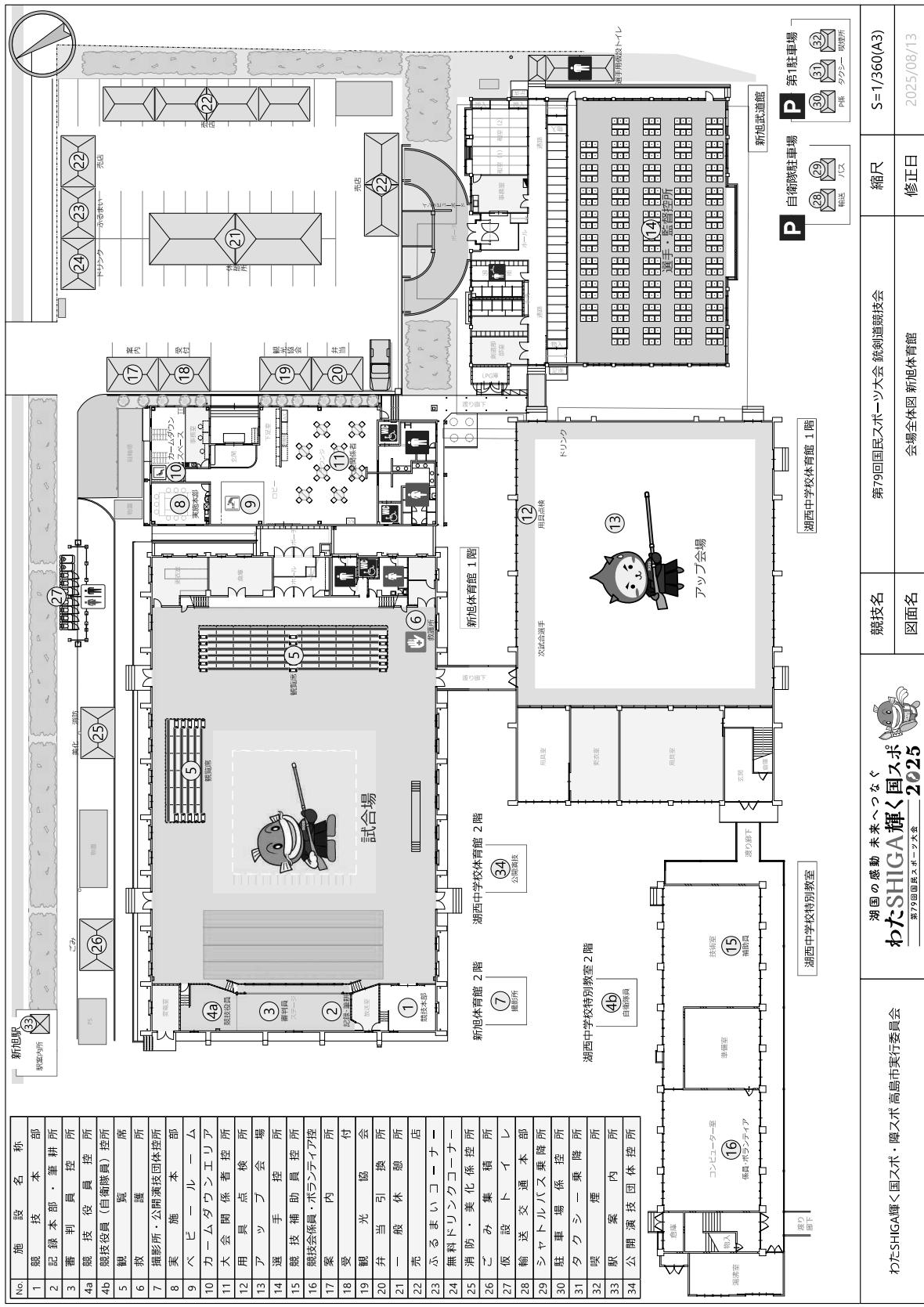


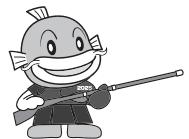


会場配置図



競技会配置圖





関係機関電話番号一覧

■ 実行委員会事務局

名称	所在地	連絡先
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ高島市実行委員会	〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畠565番地	電話 0740-25-8567 FAX 0740-25-8539

■ 競技会場

名称	所在地	連絡先
新旭体育館	〒520-1501 滋賀県高島市新旭町旭818番地	電話 0740-25-5597 FAX 0740-25-5597

■ 監督会議、審判・記録員会議会場

名称	所在地	連絡先
【監督会議】高島市役所 新館2階 会議室10、11、12	〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畠565番地	電話 0740-25-8567 FAX 0740-25-8539
【審判会議】高島市役所 新館2階 会議室9	〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畠565番地	電話 0740-25-8567 FAX 0740-25-8539

■ 警察・消防・保健所

名称	所在地	連絡先
警察 高島警察署	〒520-1622 滋賀県高島市今津町中沼二丁目4番地	電話 0740-22-0110
消防 高島市消防本部	〒520-1655 滋賀県高島市今津町日置前5150番地	電話 0740-22-1234
保健所 高島保健所	〒520-1621 滋賀県高島市今津町今津448番地45	電話 0740-22-2525

■ 休日在宅当番医等

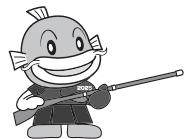
名称	所在地	連絡先
4日		
5日	高島市民病院	〒520-1121 滋賀県高島市勝野1667番地
6日		電話 0740-36-0220

■ タクシー

名称	所在地	連絡先
大津第一交通株式会社高島営業所	〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畠807番地2	電話 0740-32-4000

MEMO





超えて 伸びる

挑戦者たちは越えようとする。
記録を。ライバルを。自分自身を。
過去の常識も。世界の価値観さえも。
挑戦者たちこそあたらしい未来への原動力だ。
これまでも、そしてこれからも、
わたしたちは挑戦する人たちを応援します。
スポーツの持つ様々な可能性で、
望む未来へたどり着くために。



スポーツと、望む未来へ。

わたしたちは、JAPAN GAMES を応援しています。



Otsuka 大塚製薬



三井住友海上
MS&AD INSURANCE GROUP

セレスポ 時事通信

NO! スポーツハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO！』と言う社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”的な行為のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、また誰に対してであっても、スポハラは起こります。



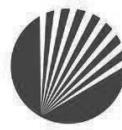
Japanese
Olympic
Committee



UNIVAS



『スポハラ』根絶に向けた取組み



JSPO
Japan Sport Association

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント

(暴力・暴言・ハラスメントなど) に、

みんなが『NO !』と言う社会を目指して



©JPSA/X1



スポーツにおける暴力行為等相談窓口

相談員



どなたでもご利用可能!

お気軽にご相談ください

スポーツにおける暴力行為等根絶宣言・
スポーツ・インテグリティ確保に関する協力覚書»



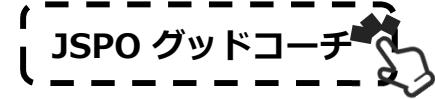
JSPO事業についてはこちら>>> JSPO事業概要パンフレット「スポーツと、望む未来へ。」



『スポハラ』根絶に向けた取組み

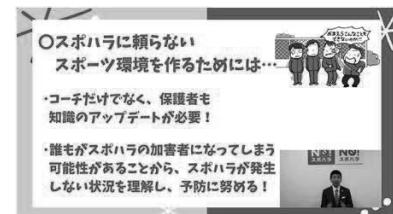


グッドコーチとして適切に対応するための動画・ワークブックの公開



スポーツ現場におけるハラスメント防止動画・情報発信動画の公開

<スポーツ現場におけるハラスメント防止動画>



ハラスメント防止・啓発セミナーの実施

<令和6（2024）年度の様子（計4会場で実施）>



「NO！スポハラ」活動に関する各種広報資料・動画の公開

<過去開催した研修会等の動画公開>



<ポスター・ロゴ等広報ツール>





アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。
すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆さんのご理解が欠かせません。

これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 **SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.**

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。
今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- 匿名による投稿であっても、法的手続により、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。

公益財団法人 日本オリンピック委員会 公益財団法人 日本スポーツ協会 公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会 一般社団法人 大学スポーツ協会
公益財団法人 全国高等学校体育連盟 公益財団法人 日本中学校体育連盟 独立行政法人 日本スポーツ振興センター



勝利を超える価値がある

私たちには信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

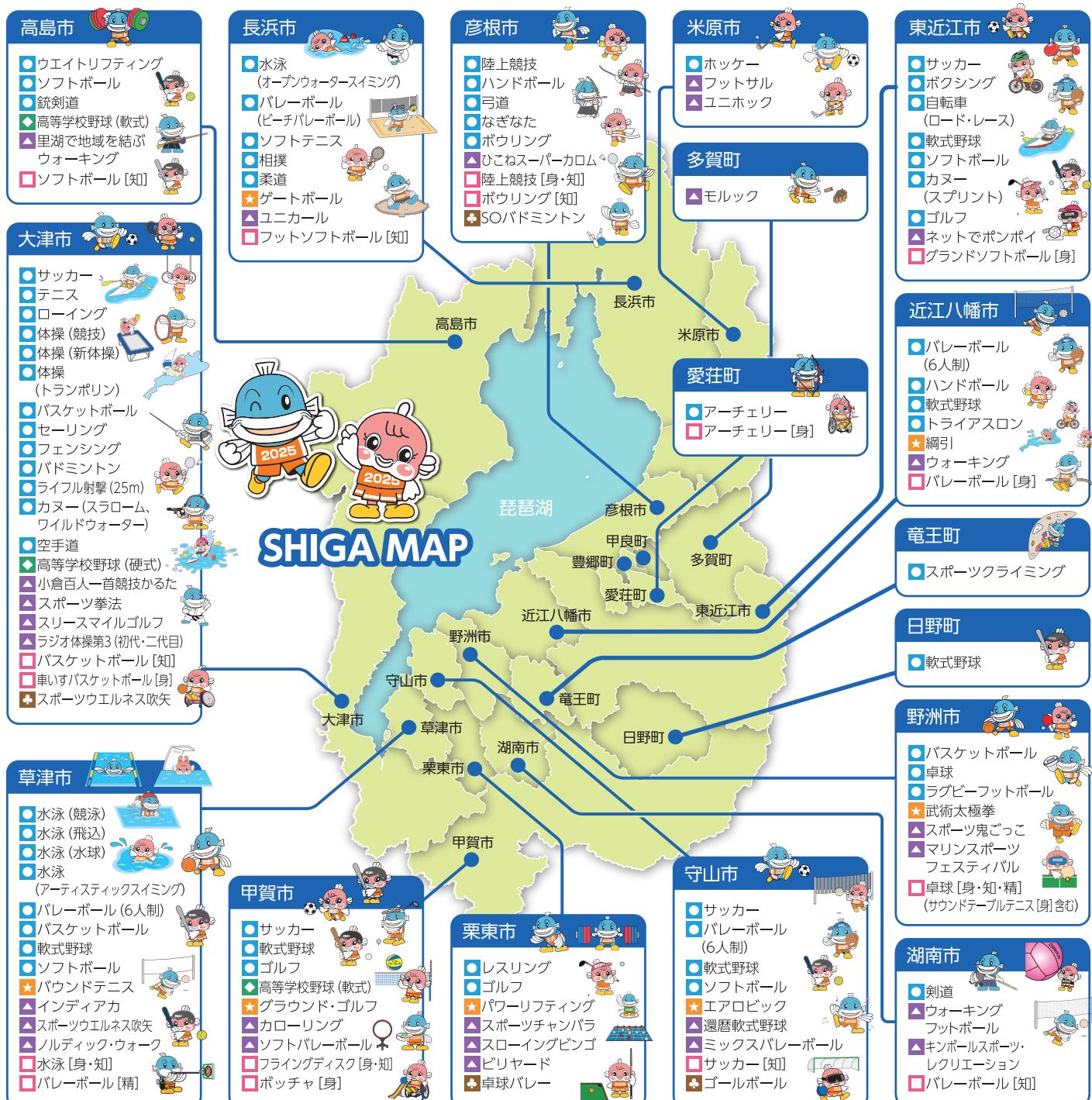
スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 競技会場地マップ

2025年8月現在



国民スポーツ大会

- 正式競技(37競技)
- ◆ 特別競技(1競技)
- ★ 公開競技(7競技)
- ▲ デモンストレーションスポーツ(26競技)

全国障害者スポーツ大会

- 正式競技(14競技)
- ◆ オープン競技(4競技)

[身] = 身体障害者 [知] = 知的障害者 [精] = 精神障害者

*国スポ競技会の詳細については各競技会場市町にお問合せください。

*所在地と運営準備市町が異なる場合があります。

県外開催競技

京都府 向日市
● 自転車(トラック・レース)

大阪府 豊能郡能勢町
● ライフル射撃(50m, 10m, BR・BP)

兵庫県 三木市
● 馬術

大会PR
動画を公開!

さらなる高みを目指して、日々努力するアスリートの姿を臨場感あふれる競技音と合わせてご覧ください。



国スポ実施期間

令和7年 9月28日(日)~10月8日(水) [11日間開催]
国スポ会期前実施競技 令和7年9月6日(土)~9月15日(月), 令和7年9月21日(日)~9月25日(木)

障スポ実施期間

令和7年10月25日(土)~10月27日(月) [3日間開催]

大会公式SNS・HPはコチラから! 滋賀2025

検索

2024年から国民体育大会(国体)は、国民スポーツ大会(国スポ)に名称変更されました。

Instagram



X



大会HP





湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く 国スポ・障スポ 2025

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会



競技結果速報ページ

開設期間：令和7年9月1日～12月26日

▶ PC・スマホ

<https://kirokukensaku.net/5NS25/index.html>



▶ フィーチャーフォン

<http://kirokukensaku.net/5NS25/mob/index.html>



国スポの観覧・観戦に関するお問合せ

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会

事務局コールセンター 0120-550-882 10/31まで毎日（9:00～18:00）

国スポチャンネル

JAPAN GAMES 国スポチャンネル

37の正式競技の
決勝戦を中心に
「国スポチャンネル」で配信！



実行委員会ホームページ

滋賀県
<https://shiga-sports2025.jp/>



障スポチャンネル

14の正式競技の全試合を
「障スポチャンネル
(YouTube)」で配信！



高島市
https://www.city.takashima.lg.jp/kanko_bunka_sports/sport/1/index.html

